

◆平成29年1月～6月工事事故の状況◆

【平成29年1月～6月事故の特徴】

- ☆事故件数は、「23件」(速報値)と過去5カ年で最少。
- ☆死亡事故は1件発生。
- ☆4月～6月の事故が「15件」発生し、過去5カ年で最多。
- ☆公衆災害は、架空線・車両損傷事故の割合が高い傾向。

◆夏場の工事事故減少に向けて◆

⇒**熱中症、急な天候変更などに注意して施工を！**

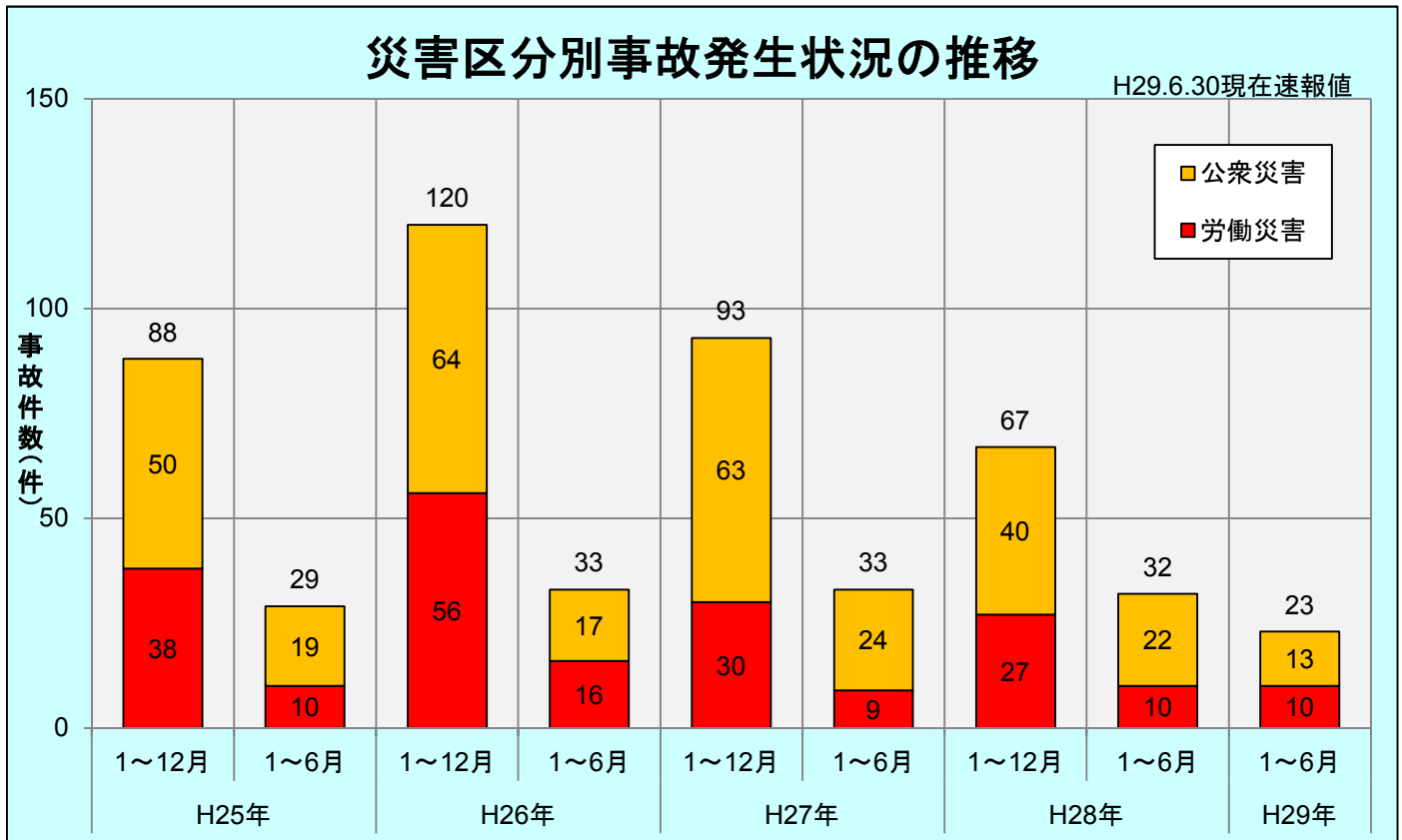
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

1. 工事事故の発生状況

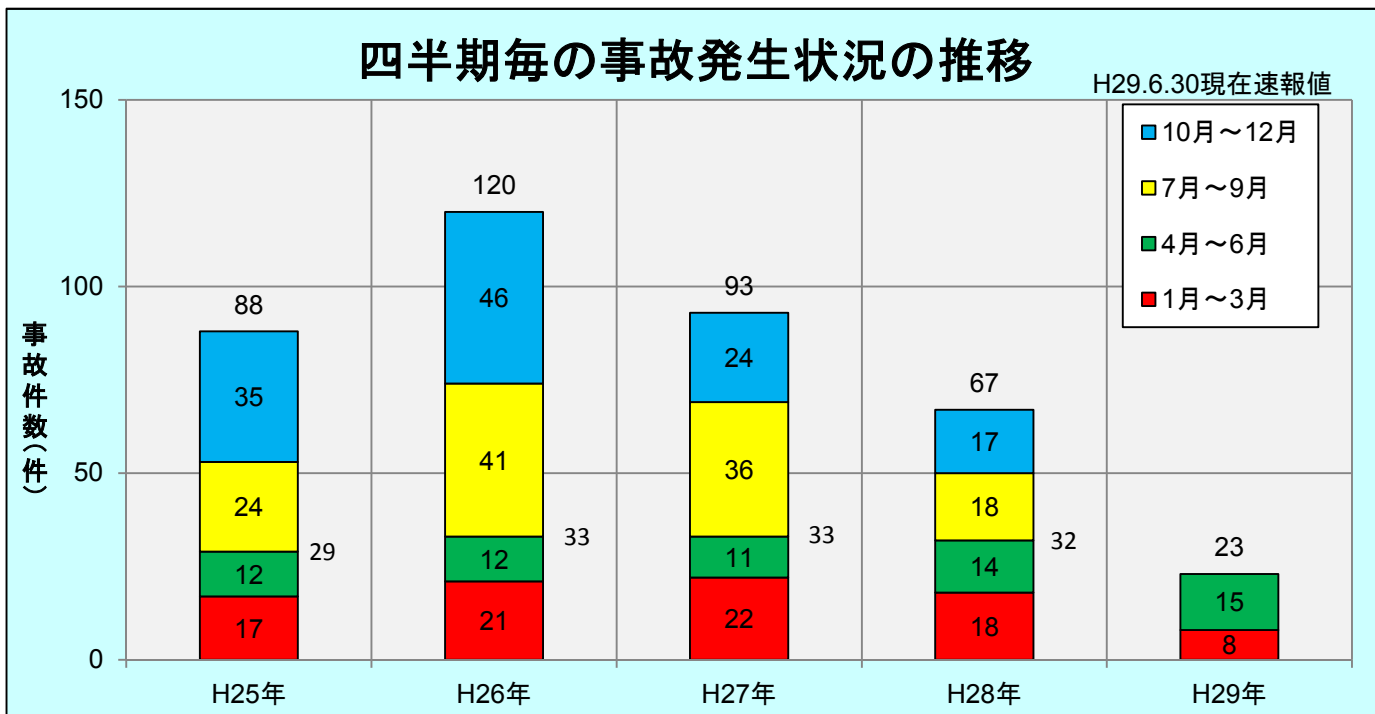
1) 各年の事故件数の推移

H29年6月までの工事事故件数は23件と過去5カ年で最少の発生件数となっています。公衆災害は13件と過去5カ年で最も少なくなっていますが、労働災害は10件と例年並みの件数が発生しています。



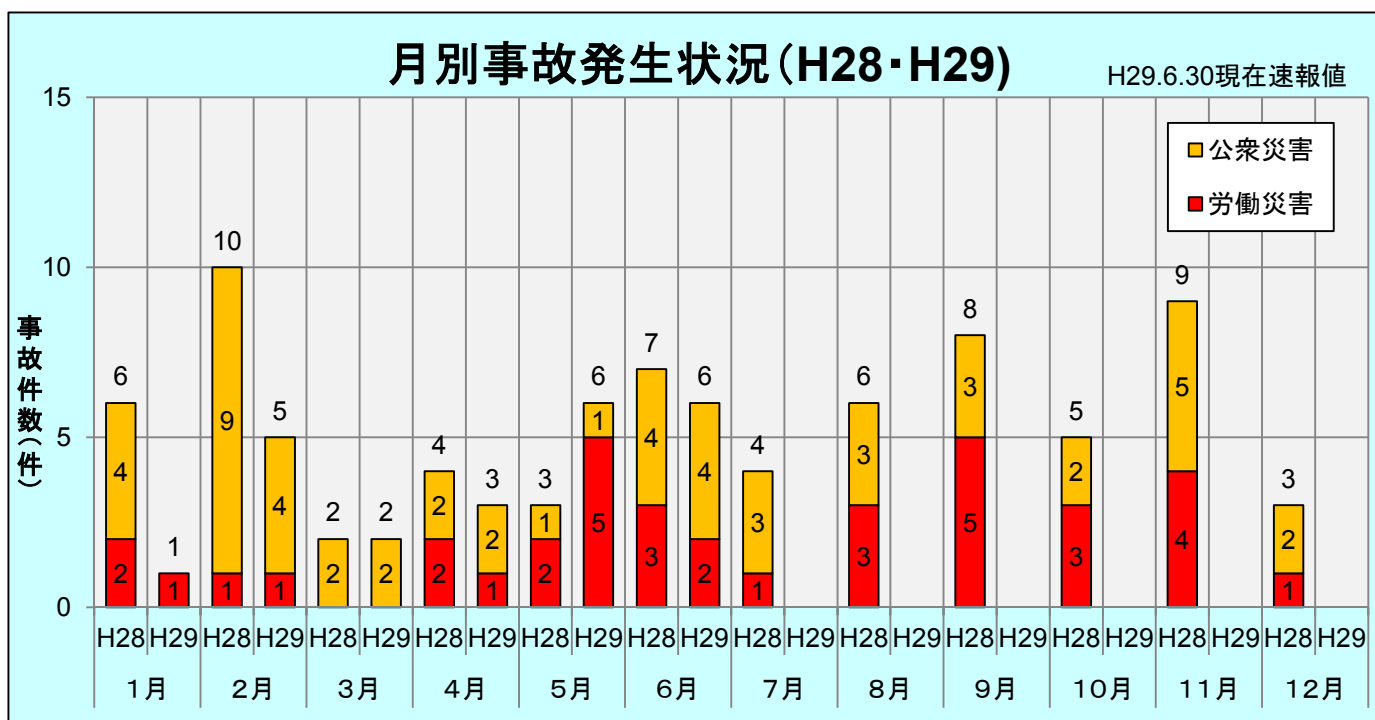
2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H29年は1月～3月の件数は過去5年で最少だったものの、4月～6月の事故が過去5年で最も多く発生しています。



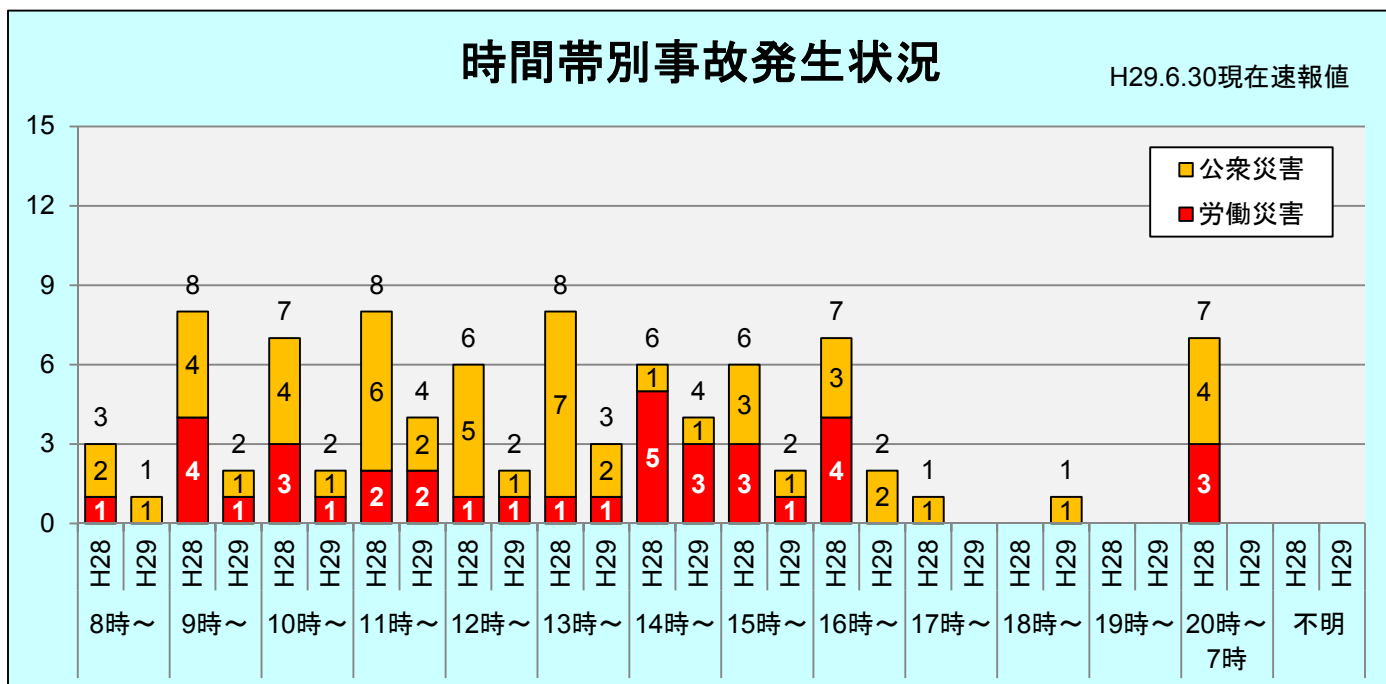
3) 月別の事故発生件数

H29とH28の月別事故発生件数を比較すると、1月～2月は件数が大きく減少していますが、5月はH28の2倍と大きく増加しています。



4) 時間帯別の事故発生件数

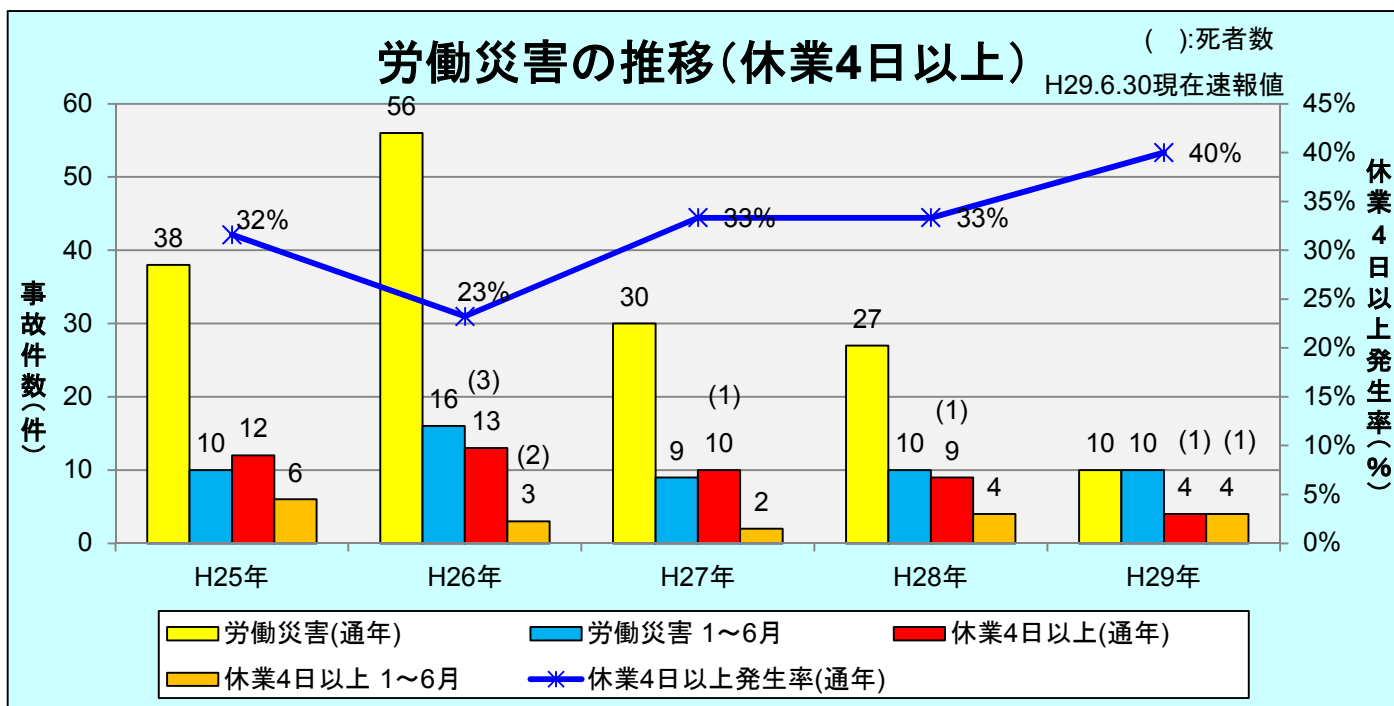
H29とH28の時間帯別事故発生件数を比較すると、18時台を除いて、ほとんどの時間帯で事故発生件数が減少しています。



2. 労働災害の発生状況

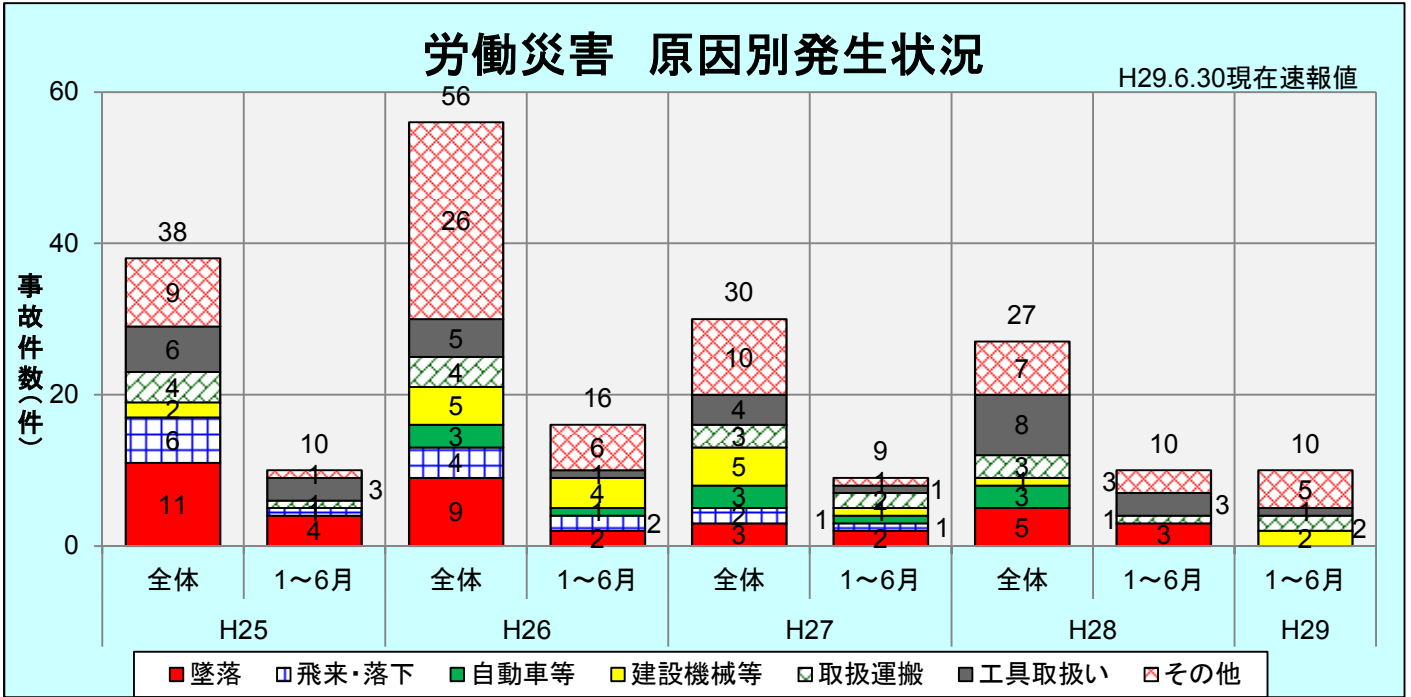
1) 休業4日以上の事故発生状況

H29年6月までの労働災害はH25年、H28年と同数の10件と、ほぼ平年並みとなっていますが、休業4日以上の事故がすでに4件発生し、労働災害に占める休業4日以上の事故の発生率が40%と非常に高くなっています。



2) 労働災害の原因別事故発生件数

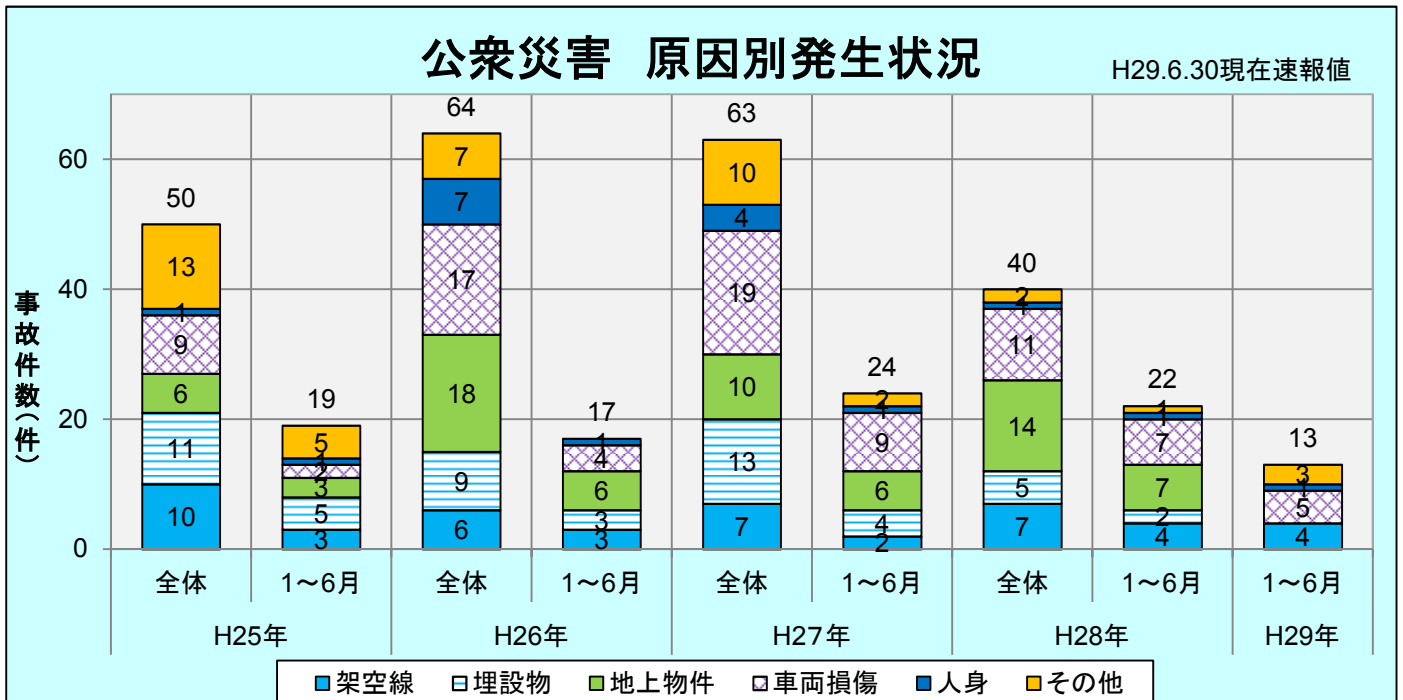
H29年6月迄の労働災害の事故発生原因では、建設機械、取扱運搬が原因の事故が増えています。



※自動車等：ダンプトラック、乗用車等による事故 建設機械等：クレーン、バックホウ等による事故 取扱運搬：荷下ろし中などでの事故
 工具取扱い：ブレード、ドリル等の作業工具による事故 その他：倒壊、爆発、電気、その他による事故

3. 公衆災害の原因別発生状況

H29年6月迄の公衆災害の事故発生原因では架空線・車両損傷による事故発生原因が多くなっています。



4. 夏場の安全管理の徹底を！

異常気象時の対策の再確認!!

台風等が予測される場合は、準備や対策を行うことが重要です。

1. 緊急連絡体制の確立

- (1) 関係機関及び隣接他工事の関係者とは平素から緊密な連携を保ち、緊急時における**通報方法の相互確認等の体制を明確**にしておくこと。
- (2) 通報責任者を指定しておくこと。
- (3) 緊急連絡表を作成し、関係連絡先、担当者及び電話番号を記入し、事務所、詰所等の**見やすい場所に標示**しておくこと。

2. 気象情報の収集と対応

- (1) 事務所にテレビ、ラジオ等を常備し、常に気象情報の入手に努めること。

3. 作業の中止、警戒及び各種点検

- (1) 気象の状況に応じて作業を**中止**すること。

4. 大雨に対する措置

- (3) 大型機械等の設置してある場所への冠水流出、地盤のゆるみ、転倒のおそれ等がある場合は、早めに適切な場所への**退避又は転倒防止措置**を講じること。

5. 強風に対する措置

- (1) 強風の際には、クレーン、杭打機等のような風圧を大きく受ける作業用大型機械の休止場所での**転倒、逸走防止**には十分注意すること。

土木工事安全施工技術指針（平成29年3月）より抜粋

<http://www.mlit.go.jp/tec/sekisan/sekou/pdf/290331anzensekousisin.pdf>

熱中症に注意!!

・熱中症予防対策の徹底を!!

地整管内では、平成27年1件、平成28年1件の熱中症が発生しています。

気象庁の7月～9月の3ヶ月予報は、「北陸地方では気温の高い確率は50%」となっています。

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

天候や場所にかかわらず、気温・湿度により熱中症の危険があります。予防対策を徹底しましょう。

・熱中症予防情報サイト

環境省の熱中症予防情報サイトに各地の「現在の暑さ指数」と「今後の暑さ指数の予報がありますので熱中症予防対策の参考にして下さい。

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

・「建設現場における熱中症対策事例集」の活用

各地方整備局等で採用された事例を収集し、その中から参考になる例を記載するとともに、熱中症についての知識や認識を深められるように取りまとめた事例集となっています。

<http://www.mlit.go.jp/common/001179488.pdf>

北陸地方の向こう3ヶ月の天候の見通し

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

【気温】

[北陸地方]



【降水量】

[北陸地方]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

出典: 気象庁3ヶ月予報H29.6.23発表

【問い合わせ先】

北陸地方整備局 企画部 技術検査官 神田

TEL 025-370-6702

FAX 025-280-8861